

事務事業評価シート

H27(標準事業)

① 基本事項	計画コード	事業名	部名	建設部	
	08084-1	施設整備事業(都市下水路費)	室名	上下水道局下水道室	
	施策体系	基本施策の大綱	01:快適な都市空間の創造	財	会計 一般会計
		基本施策	07:上下水道の整備	務	款 土木費
		施策の方向	02:生活排水対策の推進	科	項 都市計画費
戦略プロジェクト		目	目 都市下水路費		

② 目的・概要	対象	都市計画区域内の市民
	目的	都市計画区域内の水路で、老朽化の進行した箇所や、排水不良を起こしている箇所等の整備改修を実施し、住環境の改善を図る。
概要	都市計画区域内の下水路整備を実施する。	

		27年度	28年度
①	名称	実施率	計画値
	補足	整備実績/計画事業	実績値
②	名称		計画値
	補足		実績値
③	名称		計画値
	補足		実績値
④	名称		計画値
	補足		実績値

年度計画				年度実績				
				雨水マンホール蓋取替 N=7箇所 南野都市下水路 用地取得 A=129㎡				
④ 事業の計画・実績	事業費	事業費	計画額	予算額	決算額	人件費	総人件費 ①	3,792
		国庫支出金				一般職員人件費 ②	3,792	平均給与額×③
		県支出金				所要人員 ③	0.50	
		地方債				臨時職員人件費 ④		
		その他				受益者負担額 ⑤		
		一般財源		3,488	3,488	受益者負担率	0.0%	⑤ / ⑥
		再掲	翌年度への繰越額					
			前年度からの繰越額					
			総人件費			①	3,792	
			総コスト			⑥	7,280	

⑤ 事業の評価	【事業の成果】	みどり町地内の老朽化した雨水マンホール蓋を、舗装修繕工事に併せて取替えを実施した。 また、南野町地内の都市下水路の用地取得を実施した。	総合判定
			B まずまず進んだ

⑤ 事業の評価	【反省点・課題】	水路の老朽化の進行、また近年の土地利用・気象状況の変化による浸水被害等、水路整備の必要性が高まっている中、財源の確保が課題となっている。
	【改善の方向性】	緊急度判定により整備計画を立案し、効率的な整備手法により事業を進めていく。 財源については国・県の補助制度の活用を図る。

事業目的の妥当性: 適切	有効性: 適切	最終評価確認者: 下水道室長 松永 政司
--------------	---------	----------------------